Vol. 28 No. 7795 Monday January 2 1933

TAIRIKU NIPPO

昭和八年一月二日（月曜日）第七千七百九十五號

大陸日日新年號

TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.

無責任極まる聯盟
調査團の僻見
日滿支三國提携の必要を述ぶ
（外務大臣）内田康哉

滿洲國が益〻鞏固なる發達の道程に邁進したるところあつて隣邦なかんづく支那が之に對して如何なる態度に出でんとするかは、實に一日千秋の感ありと言ふも過言ではない。然るに世間一般及び調査團自身すらも、この本來の使命を忘れ、恰も彼等に於て日支兩國の關係を調査し、之が改善に關する意見を述べるが如き誤解を抱いてゐるものがあるやうに思はれる。

◇

一體、聯盟及び一般世界の輿論が滿洲國の成立に對して如何なる態度に出でんとするかは、實に一日千秋の感ありと言ふも過言ではない。然るに世間一般及び調査團自身すらも、この本來の使命を忘れ、恰も彼等に於て日支兩國の關係を調査し、之が改善に關する意見を述べるが如き誤解を抱いてゐるものがあるやうに思はれる。

◇

リットン報告書は、「滿洲に於ける支那側の組織及び支那のボイコット」及び「滿洲に於ける日本の經濟利益」の章は、これを事實の叙述であるから大體支那側の主張を認めてゐる。尤も日本が滿洲に特に有する地位を生ずるのは九國條約の精神に反するものであるにも拘はらず、事實上滿洲に於ける日本の經濟的利益が支那側の排日經濟絶交の爲に如何に重大なる打撃を受けたかは實に一日千秋の感ありと言ふも過言ではない。然るに世間一般及び調査團自身すらも、この本來の使命を忘れ、恰も彼等に於て日支兩國の關係を調査し、之が改善に關する意見を述べるが如き誤解を抱いてゐるものがあるやうに思はれる。

◇

報告書は、第五章では上海事件及び一般世界の輿論が支那に有利なるものを認めてゐるが、これ等は調査團の任務外のことといつてゐるが、これ等は調査團の任務外のことといつてゐるが、これ等は調査團の任務外のことといつ

日本のグロ料理
信州の蛇めし
朝鮮スリチビの牛の頭なぞ

松川二郎

信州の蛇めし、イナゴの佃煮位を驚く手數も要けるし、且つかうは餘りにも有名で、名物の如くして善しめて殺す方が味がよいためでもあるらしい。

鎌切とイナゴの附け燒

イカ物を食べる信州ではイナゴと一緒に「鎌切」を煮附燒にして食べる。大抵で、イナゴ性で美味でない。蜂の子は最も珍重される。——これは実に實際うまいものである。

◇

それから伊那地方では、雀んに源五郎蟲を食ふ。名は源五郎でも鯉鮒の餌とはちがふ「眞州齊州の孫太郎ッ蟲」と稱れて市中を賑り歩く子供の哥の歌。あんなもの決して仙臺地方から遥々賣りにくるのではない、そこにでもうぢやうぢやゐるのだから、すぐ近所で捕つて齊州の孫太郎蟲と稱して賣歩くのだらうが、伊那地方ではふんだんに食用としてゐる。

源五郎蟲を食ふ山形地方

いろんな昆蟲を喰食する點では米澤、山形地方も信州に劣らない。同地方の昆蟲に、

「米澤名物、ガムシにアケズ立つて小便、つかみ蚤」

アケズはアキツの轉、即ち蜻蛉である。しかしすでに成長してトンボになつたものは食はない、幼蟲の未だ水中にあるものを捕へて食べるので、蜻蛉の幼蟲は眼玉と口が最も肥大く、體は赤色に透き通つて、あまり氣味のいゝ恰好のものでないが、一頓の甘味を有し、なか〳〵捨てがたいさうだ。それからセミの附け燒は砂糖と醤油で煮附けたものだがこれも山形地方獨特の土産料理で可なりひろく行はれ、蟬はフライなぜにして食べる。

◇

朝鮮の一膳めし屋は、それが蛇めしと謂はれるも、それが蛇めしと謂はれるも、それが蛇めしと謂はれるも

ベーブ・ルースなるかな！

野球黄金時代が出現

ナゼ隆盛になつたかの原因解剖

平峰猛球

野球はアメリカが一番盛んであつて、日本が之に次いでゐる、歐洲あたりでは、英國、ドイツ等に憧かれてゐるだけで、とても現下の日米兩國に於ける野球熱には比較にもならない。

特に日本に於ける最近の野球は實際らしいものであつて、日本の柔劍道の二段及び相撲と共に今や全國的に普及しつくしてゐる。そして双野球は百般の運動競技の中で最も多くのファンの聲援によつてゐる。

◇

野球の第二の理由として擧げられることは、昨年リーグ戰を前にして、野球の黄金時代と言へるかも知れない。

然らば、どうしてかくまでも野球が盛んになつて來たかと云ふとそれには澤山の首肯し得る點が見出され得るのである。

◇

先づその第一に擧ぐべき事は野球の大衆性である、從來の劍道や柔道は一騎打であつた、一勝負に二人の擧動が關係するだけであつた、然るに野球にあつては一勝負に二チーム十八人の擧動が關係してゐる。尚は觀衆の包容力も亦、日本在來の多くの運動競技及び外國傳來の諸種の運動競技にあつて

◇

野球隆盛の第三の理由として擧ぐべきは、そのテンポの早さである。國技相撲が漸く大衆から見放されやうとしてゐるのは、斯道のため遺憾千萬事であるが、要するに斯技衰退の直因は、何事にもテンポの迅速を要求する近代大衆の意圖に副ひかねるが故である。勿論には行かれば、一般大衆の非難する仕切りの長さ、あの仕切りにこそ相撲の妙味があるといふのだが、科學文明の爲に機械化された民衆に對して、抽象的な仕切りの妙味なぞは、理解出來やうが管がない。民衆は數理的認識によつて、そして娯樂までも解決しやうとするのである。そこへ行くと野球は實にスピーディである。打つ、守るの交替——一口に言へばそれが野球であるが、實に敏速に行はれる。

◇

野球全盛の理由として擧ぐべき第四、第五の原因は、野球の快朗性、若しくは明朗性と、野球の解放性である。野球は實にキビ〳〵としてやられるスポーツである。勝敗の決定までがリズミカルである。從來の一騎打勝負の如く、その勝敗決定後に來る陰慘深刻な勝利感がない、勝つても負けても朗かである。近代民衆はジメ〳〵した暗さを排斥する。野球はその等が構成してゐるものは、他近代的に終始してゐるものである。

◇

明治以下法政、立教には未だこの粘り强さが出來てゐない樣である、併し明法立が早慶と俄に優勢を斷と難い點にまで進境し來つたことは見逃すべからざる事であり球界進運のため慶賀すべきことでもある。

◇

帝大は外の五大學と比較して、少しくそのリーグに介在する意義が異るのであつて、實力からいへば、東京五大學リーグの日大あたりにも劣る樣であるが、併し帝大は何といつても、學生野球の意義と存在の確立の爲にも缺くべからざるものである。

全國中等大會

關西で大人氣

全國中等大會も亦日本切つての人氣の頂上にあり、大會毎に關西人の血を湧かしてゐる。前記の如く甲子園のスタンドは八萬の觀衆を收容し得るのであるが、そのスタンドの先陣を爭ふべく、テントを張つて夜明しするファンの群を誰れが正氣の沙汰と思ふであらうか、しかもその中には、老人も、女子供もまじつてゐる。

◇

以上二大野球を始めとし、日本國中、草野球に至るまで、野球でさへあれば民衆はおしよせてゐるのである。野球黄金時代の現代ではある。

野球戰 人氣の頂天

東で大學リーグ

さて、その野球熱の最高頂に、東西相呼應する人氣の二頂點がある、東京大學野球リーグ、甲子園全國中等學校野球大會が、即ちそれである。

◇

先づ東京大學野球リーグであるが、このリーグに屬する早稻田、慶應、明治、法政、立教、東京帝大の六大學は餘りにも有名である昭和四年あたり迄はビック・スリーと稱してリーグの覇權は早、慶、明三大學の間にたらひ廻しの樣な有樣であつたが、一昨年頃から、法政、立教が俄に實力を貯へ來り前記三大學の中に入つて、容易に優劣を判じ難き强味を持つて來た

◇

併し何んといつても、未だ早慶、殊に早慶は、その長い球史の上からも、傳統的强さを持ち續けてゐることは爭へない事實である法政、立教は新興チームの悲しさには、その前半戰に於て相手のチームにリードされると、それを盛り返す力がない、早慶には之れがない、例令前半は敵チームのためにリードされることがあつても、後半の追擊戰によく相手のチームを仕止めるだけのうまみがある、

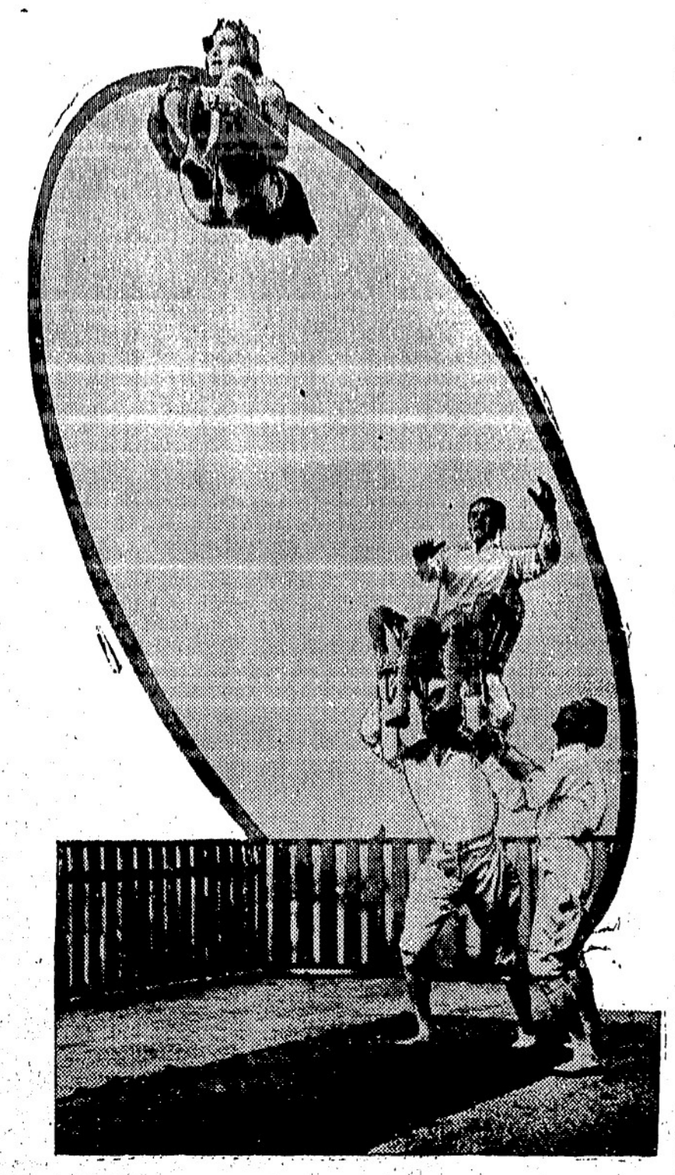
オリンピック參加選手

最近の水上跳込み實演

明けて昨年のオリンピック水上競技に參加した米國大選手たちの身の上にも、いろ〳〵の變化が生じてゐる、オソン嬢やクラブの如く、オリンピック選手といふ肩書を商物に、素早く映畫界に轉身した人々もあり、次回には、果してアノうちの何人が出場する事になるか

◇

寫眞は南加州バーム・スプリングのプールに於てオリンピック出場三大選手が最近の跳込み實演——(左から)クルッ ライリー、コールマン



スバらしい

女の輕業師

バネ仕掛になつて居る跳板からにヨリや跳びあがつたと見る間に、女の姿は後ろ向きに空中を飛んで、向ふの男二人の支ふる椅子に輕やかに降る、背の男の上に、ソリ返つた其の瞬間の寫眞

◇

是れこそはドイツの首都ベルリンで今評判の女輕業師ウマく行きましたら皆樣御來覽ふぶところ

THE ROYAL BANK OF CANADA
EAST END BRANCH
VANCOUVER, B. C.

謹賀新年

一九三三年の年頭に際し
日本人諸士の萬福を祈ります
客年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上げます
本年も一層御客樣本位として日本人部に於て總ての銀行事務の取扱を敏速且つ叮重に致しますから倍舊の御引立を希上げます

一千九百三十三年一月元旦

ローヤル銀行
(イーストエンド支店)
晩香坡市ヘスティングス街及メイン街角
支配人 エチ・エフ・モンゴメリー
日本人部 主任 木下善一
有門榮

謹賀新年

年頭に當り同胞諸子の御多幸と御健康を祈り併せて倍舊の御引立を願上げます

昭和八年一月一日

シヤトル住友銀行

謹賀新年

神戸山下汽船株式會社代理店
神戸川崎汽船株式會社代理店

山下株式會社

晩香坡市バラード街二五五
電話 シーモア 一七四一

年頭の辭

野々村雅二

鶏は一ケ年を回顧して見ますと、如何にも多事多端な年でありました。内には政界の不況に悩まされ、財界の経済不況に悩まされ、晩春には北丹後地方の大震災に見舞われ、秋には風水害に襲われ、冬は冬で帝都を中心とするビー・シー外では、政府は財政整理問題や教育問題のため、其の對策に苦心して居り、其の為め超越内閣の出現や失業救済、失業者の団結の出現が次々に起つて来たのでありますが、此等の問題は皆国民全般に関係して居る重大問題であります。

◇

又欧州を顧みる時は、国際事態に絡いて激動の波立を見ることとなつたのでありますが、同事態及び国際聯盟の脱退ネヅアに於る國際聯盟の脱退ふ風も国際的なる問題となり、未だに解決を見ずして経過してあり、日満に日本國は此非常時に當り、協力一致國論に當らんとの堅き決心はあるも、同時に日本の経済、多難なる政府歳出問題や農村の疲弊、都会上の悩みを持つて居る状態で、輿論が下半期に多少好転したのみでは、未だ〳〵日本の不安動揺が静まらぬ次第であつたのでありまして、此間國民に顧心有する我同胞は、百般の事態に対することを大ならずするも、此國難を以て事として少なからず其の能力に心を注いで居つた次第であつたのであります。

◇

以上の如く在留同胞は、吾々現存者に於て経験しなかつた事。

◇

昭和七年は斯くの如くして多難の中にも経過して来た次第でありますが、本年も亦決して容易な年であるとは考へられぬけれども、大なる将来を約束せられつゝある此加奈陀國土にあつて我が同胞は他の在加人士と共に新しき希望と新しき理想とを以て、何等か運命の一歩を開拓し何等か貢献するの方法を考究して進むことが必要ではないでせうか。

◇

我同胞が過去數十年に亙り、漁業に山林、製材業に農業に、將又外國貿易、各種商業等に、加奈陀の爲めに盡したことは勿論であるが、一面加奈陀在住者として加奈陀人に排斥を受けた歴史を持つて居る。而も其處には何等かの原因が横はつて居る事を知らなければならぬ。吾等は同胞の功績は之を認むべく、又正しきを正しきものとして主張するに憚る處なきと共に、若し同胞の側に何等かの缺陷若くは不注意等があつたが故に批難を受けたことがあつたとすれば夫等の點を匡正し、更に進んで各種其の干與する職業の上に、今後幾多の困難と戰ひ、現狀打開の道を講ずる必要があると考へらるゝと共に、在加同胞のことは同胞自ら之を作るものなることを思ひ、理想と希望に燃えて、立派な同胞社會を建設すべく努力せられんことを衷望して已まぬものであります。

◇

茲に更生の心と新しき希望とを以て、昭和八年の新春を迎ふることを慶賀し、併せて聊か年頭の所感を述べた次第であります。

新年の農業雑話
鶏の先祖

南北生

古代の支那では酒のみ資本が發達して居た。——中にも周代（今から、大約二千二百年乃至三千年前）では酒器には、酒を舀る道具とか、盃の類とかいふものは、幾種もあつたのであるが、鶏の形をしたものは、殆んど無かつたらしいのである。

◇

普通、家禽としての鶏の先祖は、ジヤングルフヰルと呼ばれて居る野鶏だといふことになつて居るが、それはインド北部、ビルマ、マレー島、支那、ヤレー島附近の叢林に棲み、木の實や蟲などを常食とし、卵はクリーム色で、尖つて居るものである。——伊太利の支那學者ヘツクトル・ホーリー氏は、家鶏の先祖は、ジヤングルフヰルと、セイロン島、マレー群島、インド、支那の野生の鶏とで、外に、もう一種あるのだらうと言つてゐるが、尖つて居るのは、エヂプトの實

◇

鶏が、第十八王朝時代から始まつた事である。——その咏のエジプト人は「神聖の鳥」「不思議な鳥」と呼んで居た。——中にも周代（今から、大約二千二百年乃至三千年前）では酒器には、酒を舀る道具とか、盃の類とかいふものは、幾種もあつたのであるが、鶏の形をしたものは、殆んど無かつたらしいのである。

◇

所が、日本では其の家鶏が、既に古代に現はして居る。——即ち、大和の天岩屋戸の神話に、天照大神が天岩屋戸に籠られた時に、八百萬の神が天安河の河原に集つて、天手力雄命が神懸りをされる——その際に「常世の長鳴鳥を集へて鳴かしめ」と「古事記」に書いてある。——此の「長鳴鳥」といふのが即ち鶏の事である。

◇

して見ると、日本人の祖先の養鶏といふ事になるのであるが、第一、日本人の祖先の養鶏といふものは、可なりに古いといふ事になるのであるが、第一、高天原といふのが、日本内地か、アジア大陸か、その點がハッキリして居ないし、第二に、日本古代の年數といふものは、眉つ唾物の點があると、歴史家の間にも異論がある場合、日本内地で、今から數千年か前に、既に養鶏が始めて居たなどとは速斷が出來ない。——歴史上明白に養鶏の記録が殘つて居るのは、今から千六百六十年ばかり以前、照神天皇の頃からだといふ事で、多分、支那とか朝鮮とかいふ方面から輸入したものだらうといはれて居る。

◇

併し夫等は所謂「地鶏」とか「東天紅」とかいふ種類であつた。——其後、チヤボが占城（安南）からシヤモが暹羅國から輸入された。——アンな遠方と交通があつたのかと、不思議に思ふだらうが、それに就ては次のやうな話がある。——安南の葬禮の中に埋もれて居り、一八五八年、シュオー探檢隊によつて發見されたコンゴル・ヴヂアットの大伽籃遺蹟といふのは、實に徳川鎖國令の下る四年前一六三三年にアソコ迄押し渡つて居るのである。——右の佛寺は西暦一二〇〇年代に建設されたもので、廻廊内部に施されてある浮彫は、精妙で名高いものであるが、その一つには、ナンと「闘鶏の圖」があるさうである。

◇

西洋鶏の日本に輸入されたのは、チヤボや、シヤモなどよりも遅れて徳川光圀公（一六一九—一七〇〇年）が「闘鶏」を取り寄せたのに始まるといふ事になつて居る——同公は、外國種の草木禽獣を日本へ輸入した恩人であるが、最も信頼すべき同公の傳記「桃源遺事」に、輸入動植物一覽表があつて、而かも其の中に「闘鶏」といふのは見當

◇

謹賀新年
大陸日報社同人
山崎寧

地方代理人
（エー・ビー・シー順）
シャニガン・レーキ　足立加保留
ケローナ　越後徹二
トフイノ　疋田佐右工門
ニウ・ウエストミンスター　引田嘉一
ウイニペック　氷室勘七
ヴイクトリア　逸見惣吉
オカナガン・センター　伊藤珍太
ヒルクレスト　稲本音松
ミツシヨン・シテー　久藤實
チエマイナス　河部友喜
プリンス・ルパート　北川源藏
ウツド・ファイバー　切山良一
シール・コーブ　門永友次郎
レーモンド　小坂正造
ナース　三木一太郎
オーシャン・フオールス　増井喜幸
キャルガリー　向村繁

謹賀新年
ステブストン合同教會
牧師　水野重吉

謹賀新年
ステブストン郵函一二二
中塚薪炭商
電話一三四

謹賀新年
金物及漁船漁具一切
ステブストン郵函一三三
新出金物店
電話一〇一

謹賀新年
ステブストン
フイニックキヤナリー
谷野宇八
電話四六アール

謹賀新年
ステブストン郵函一八八
宮下藥店
宮下信三

謹賀新年
ステブストン郵函一二二
若葉菓子店
電話三五

謹賀新年
支那料理及洋食店
ステブストン
サンカフエ

謹賀新年
ステブストン郵函四四五
宮下服飾婦人裁縫店
電話一〇六

謹賀新年
書籍
學校用品
ステブストン
久芳書籍店
郵函三九

謹賀新年
ステブストン
吉田國定
電話四四キユ

謹賀新年
ステブストン
玉置なを
中島りん

謹賀新年
ステブストン語學校
松崎三次郎

謹賀新年
ステブストン郵函四二九
和洋雜貨食料品
脇田商店
電話三二

謹賀新年
ステブストン電話一三〇
日本ツランスファー
大谷恒寛

謹賀新年
ステブストン郵函四六
和洋雜貨食料品
近江屋商店
電話三一

謹賀新年
球場並に理髪場
谷石權四郎
ステブストン郵函一二〇

謹賀新年
ステブトン郵函三八　電話八八
向井商店
同球場

謹賀新年
ステブストン
廣瀬靴修繕所
電話一〇〇

謹賀新年
ステブストン郵函四五二
小林貞二
電話二六

謹賀新年
ステブストン郵函一八〇
向井造船所
電話一三九

謹賀新年
ステブストン
眞砂床
郵函一五〇　佐々木床
郵函三五　田坂床
宇都宮床

忌中年末年始の禮を欠く
ステブストン
中出造船所
電話八六

ロシアの農民

波乱の時代の文豪トルストイの農民たちの間にもドシドシ入つて行かれる風を宣伝し、輸入せんと種々に計畫して居る

いよく張學良へ最後的の警告

陸軍省から發表して

熱河方面に戰雲が漲る

〔十二月廿一日着〕熱河方面に張學良が勢力を振ひつゝある事に關し陸軍省では來る廿三日發表する筈で張學良に對する最後の警告をなす筈、內容は概ね次の如くである、一、張學良が滿洲國に對し、日本及び滿洲國に惡影響を及ぼすべしと認めるに至れる場合は斷乎たる措置を執る、〔附記〕廿一日朝の合同通信によれば日本軍は熱河進攻に決定し最後通牒も廿日發せられ方面に出發し、省境に於て小衝突が既に開始せられて居る點に報道せられて居る

二名士が死去

蜂須賀侯と本山彦一氏

〔第一報〕前貴族院議長蜂須賀侯爵は廿日腦溢血を起し廿一日午前三時五十分薨去、享年六十一歳

〔第二報〕大阪毎日、東京日日新聞社長、貴族院議員本山彦一氏は廿日午後死去した、享年八十歳

非常時局に際して 日本精神發現

三千年傳統の勇猛心を起せ

齋藤首相の新年の辭

（東京通）我國有の不況は依然として來る所久しく、獨り公けの施設に俟つて救濟を求めるものではない、國民が擧國一致の上に組織の實相を發揮し、相率ゐて國難の打開を期し、更に進んで公私生活の刷新を斷行し、眞に自覺して此の國難に當るが肝要であると信ずる

◇

平に國民も此の時局に奮起し自力更生の精神を振ひ、我が國民性の特質を發揮するの覺悟あらんことを望むものである、申すまでもなく現時國難の極めて重大なる秋に際し、擧國一致の上に組織されたるもので、從つて政府は是が指導に任じ、人心安定の勤勞に從事することが重要なる任務の一であるから、萬難を排して是が達成を期しつゝある

◇

（東京通）我國民は國家の危急の迫り來るに當つて、常に よく難局に處へ、忍び、遂にその危局を乘り切るのみならず、時には時に應じなしたのである、現實に大國民としての態度であり、大事に處する術に多く缺く所なき事は、不拔不撓の精神を以て、この難局を打開せんとする我國民性の發露であるわれは私の眞心從びに勇氣ないのである、申すまでもなく現時國難の極めて重大なる秋に際し、擧國一致の上に組織されたるもので、從つて政府は是が指導に任じ、人心安定の勤勞に從事することが重要なる任務の一であるから、萬難を排して是が達成を期しつゝある

◇

今や此の時局に直面し、國民を擧げて我が傳統の勇猛心を振ひ起し擧國の國運隆盛の基を築かん事を希ふ次第である

米も繭も冷凍で貯藏

加茂博士語る

去る八月アルゼンチン國ブエノスアイレスに於て開催された第六回國際冷凍會議及次回同月初旬パリに於て開催された國際冷凍協會第八回總會に政府代表として派遣された東京帝大教授工學博士加茂正雄氏は廿一日歸朝の途に就いたが次の如く語る

「冷凍事業は近代生活に極めて必要なものとなつて來た、將來は米も繭も冷凍貯藏すれば價格の調節を圖り得、從つて農家の收入を增加し得ること明かである、我國に於ても既に數年前から冷凍事業は發達して居るが、未だ其の利用範圍は狹く、例へば鮮魚の如きも冷凍すれば遠隔の地に輸送し得るし、又季節的に多量に漁獲せらるゝ鰯の如きも冷凍すれば年中販賣し得る譯である、又肉類の如きも冷凍すれば年中販賣し得る譯である、又肉類の如きも冷凍すれば年中販賣し得る譯である

サカイ幼魚

九千万尾放流

オタワ漁業省で本年加奈陀各地の魚類孵化所に於て孵化及び幼魚の數は六億以上に上り其うち幼魚だけが一億三千八百萬尾であるが其の中でも一番多かつたものはピーシー州內に配布されたサカイ幼魚九千七百萬尾であつた、來年は春から夏にかけて金加の湖水や河流に無數の幼魚を分配して放養する事になつた

四人の待遇

刑務所で改善

今度オタワ司法省で加奈陀刑務所法を非常に寬大に改め一月一日から實施となつた、即ち一に懲罰の使用を一週二斤の十一分の一ヒシガレット・ペーパーを與へ、外にパイプピチユーイング・タバコも分配する、夫れから訪問者との面會時間を延長し、手紙も月に二通を受けぬものは三通まで許しクリスト教徒でない者の日曜禮拜

ベンチット任命

バーナビー管理に

叫政府出しのバーナビー管理委員として僑報の通り晩市々會議員ベンネットが年俸四千五百弗で任命された

◉製材所休業　晩香坡島シドニー製材所は二十九日限りで運轉を中止、チマイナスのビクトリア製材所も先週限りで休業となつた

新年の郵便局

二日も休み

一月一日は日曜日で郵便局は休み二日（月曜日）は郵便配達を行はず只一回だけ午後五時頃に郵便物を集める、本局は戶口だけは午前八時から午後十時迄開けるが書留や小包等の事務は休み、支局は全部閉鎖される

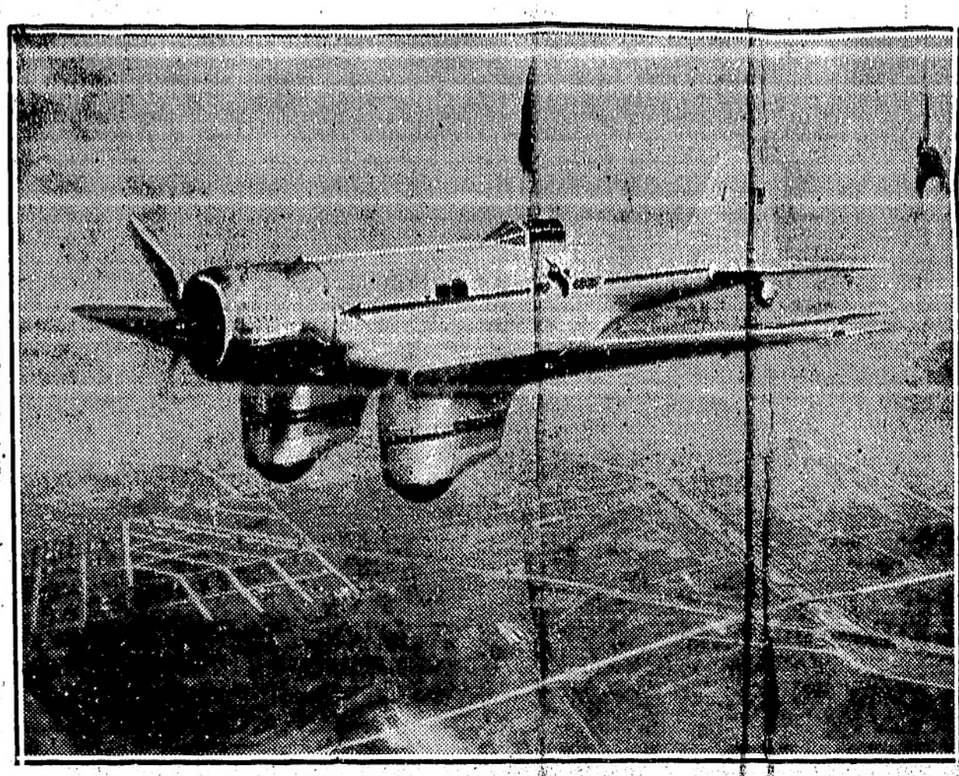
◉北斗會　晩香坡日本共立語學校の北斗會は二日午後二時半より母校に於て定期總會及び新年親睦會を開催

◉ステヴストン佛敎會　同地方の佛敎信徒の增加に鑑み今回ソサイアテー・アクトにより州政府へ同佛敎會の名義を爲し正式公認された

日曜の教會

▲合同敎會△新年聯合禮拜朝十一時フエヤビウ說敎「何を爲さん事を望むか」清水牧師、會員入會式及聖餐式△日校フエヤビウ朝九時四十五分、バウエル休み△前年英語禮拜午後七時半バウエル說敎「起て、我ら往くべし」清水牧師▲元旦の聖公會へ聖餐式午前八時半と十一時△日校同上時ヒップス十一時△夕禮說敎午後七時半▲新卯院敎會△日校午前九時△元旦禮拜聖餐式十一時△地方集會、ストロベリヒル午後三時、サーー夜七時

新年の空を快速二百哩で



佛國のボークス大尉は新年早々長距離飛行で迷方の新機を作らうとして居る——用機は寫眞の通りのもので全金屬、時速二百哩——今やロサンゼルス市上空を試驗飛行中の樣

謹賀新年　ビーシー州ロイストン　双葉會

謹賀新年　グランビル商業組合　古屋商店

謹賀新年　モヂスト商會　百瀨商會　折戶商會　東洋商會　大和商會

謹賀新年　東カドバ街七九〇　カードバ食料品店　川口房藏　西河原菊二郎　電話ハイ三一六〇

謹賀新年　西ブロードウエー一〇九七　國府田道之助　電話ベヒュ七五〇〇

謹賀新年　晩市メーン街二三三　竹內家具店　電話ドグラス五五六七

謹賀新年　晩香坡市バウエル街三四四　前川運送舍　電話シーモア七六六四

謹賀新年　日本人湯屋組合　千歲湯　壽湯　松之湯　錦湯　常盤湯

謹賀新年　晩香坡市東カドバ街參百番　ダグラス五五九九　本年も　ごうぞよろしく

謹賀新年　晩香坡市バウエル街三五七　正鈴木菓子店　電話シーモア七九三五

謹賀新年　晩香坡市アレキサンダー街四〇九　尾本商店　電話ハイランド八五七

忌中に付年末年始欠禮仕候　晩香坡市東カドバ街二一九　マドロナ・ルームス　上手七藏　同シゲ

謹賀新年　晩市メーン街二九〇〇　ステートクリナース　樋田英作　電話フェア二七二三

謹賀新年　晩市バウエル街二三一　神力無雙　揉み療治　牛島幸吉　電話シー六五五四ニル

謹賀新年　晩市バウエル街三一八　磯谷運送舍　電話シー五五二六

謹賀新年　晩市バウエル街三一三　中川果物店　電話ダグ八三六

謹賀新年　晩市バウエル街四三九半　若林豆腐屋　電話ハイ四〇六七

謹賀新年　晩市バウエル街三四四　大工職　澤田幸吉　電話ドグ四六五九ワイ

謹賀新年　東ペンダー街九二　廣濟堂　林弼臣

謹賀新年　晩市バウエル街六一七　名灸鎌倉與市

謹賀新年　晩市バウエル街六一七　ピクトリールームス　中島田格　太郎　バウエル街三九一

謹賀新年　火災自動車保險　高橋保一

謹賀新年　入木橋式電氣テル　モ鍼灸治療院　得業士　瀧篤次郎

謹賀新年　晩市バウエル街三五七　井上博　クヰンスホテル　電話シー九四五一

謹賀新年　晩市バウエル街三四四　日本人理髮業組合　事務所　晩市メーン街二四〇　電話ダグ四四七一エキス

謹賀新年　晩市西第二街一六五八　西村初商店　電話ベヒュ三〇二

謹賀新年　晩市バウエル街七六七　近江屋商店　橫田權次郎

謹賀新年　晩市メーン街二一五　純修繕業　ジエ・フアーコ　J. Furco

謹賀新年　晩市メーン街二四九　菓子果物煙草　神原商店　電話ツリニチー五八一三

謹賀新年　晩市メーン街二五一　御手輕料理　一ふく　氏原するの

謹賀新年　晩香坡島シドニー　日本共立語學校　敎師一同

謹賀新年　晩香坡市バウエル街三四四　前川運送舍　電話シーモア七六六四

謹賀新年　日本人湯屋組合　千歲湯　壽湯　松之湯　錦湯　常盤湯

謹賀新年　晩香坡市東カドバ街參百番　ダグラス五五九九　本年も　ごうぞよろしく

謹賀新年　晩香坡市バウエル街三五七　正鈴木菓子店　電話シーモア七九三五

謹賀新年　晩香坡市アレキサンダー街四〇九　尾本商店　電話ハイランド八五七

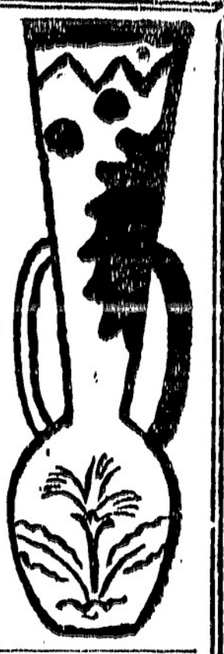
忌中に付年末年始欠禮仕候　晩香坡市東カドバ街二一九　マドロナ・ルームス　上手七藏　同シゲ

A HAPPY NEW YEAR

新年　謹賀　祭奉保險

中野保險事務所

代理店主　中野庄輔　伊澤之俊　兵頭英一　小林眞二　岡田館太郎　加藤萬三郎　猪瀨宗一　大橋文次郎　渡邊順次　吉林一雄　松林幹一　山村末記



孔雀船

（57）

加藤武雄

死の前（五）

新年笑話

鶏の年齢

牧師「鶏の年齢はどうしてわかりますか」

賢生徒「歯でわかります」

牧師「しかし、鶏には歯はありませんよ」

賢生徒「いゝや、僕の歯で――」

無名作家

よきパパ「子供のクリスマス・プレゼントにするんですが、絵入の馬太傳はないでせうか」

本屋の亭子「一寸お待ちくださいませ。ストックをしらべて見ますから」

と奥へ引つこんで行き、しばらくして出て來て、

「あの、著者はななたでしたかしら――」

出拾てならぬ

大會衆、故郷に師を飾り、勝演奇に臨んで咳一咳、

「思ひ出せば四十年前、私はこの町で、月二圓の給料で八百屋の小僧をしたものであります。然も、其中から私は、粒々辛苦して貯金をしたのである――」

感無量の思ひ入れよろしき折から、一隅に聲あり。

「現金拂が殖りされねばよいがつたらう！」

孔雀船（57）

加藤武雄

死の前（五）

新年笑話

鶏の年齢

牧師「鶏の年齢はどうしてわかりますか」

賢生徒「歯でわかります」

牧師「しかし、鶏には歯はありませんよ」

賢生徒「いゝや、僕の歯で――」

無名作家

よきパパ「子供のクリスマス・プレゼントにするんですが、絵入の馬太傳はないでせうか」

本屋の亭子「一寸お待ちくださいませ。ストックをしらべて見ますから」

と奥へ引つこんで行き、しばらくして出て來て、

「あの、著者はななたでしたかしら――」

出拾てならぬ

大會衆、故郷に師を飾り、勝演奇に臨んで咳一咳、

「思ひ出せば四十年前、私はこの町で、月二圓の給料で八百屋の小僧をしたものであります。然も、其中から私は、粒々辛苦して貯金をしたのである――」

感無量の思ひ入れよろしき折から、一隅に聲あり。

「現金拂が殖りされねばよいがつたらう！」

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二六六
兒樓
太
電話シーモア三〇七九

謹賀新年
晩香坡市バウエル街三五〇
簡易食堂
富美
電話シーモア七五三九

謹賀新年
晩香坡市メーン街一一六
福助
電話ダグラス四七〇九アール

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二六一
八千代
合志セイ

謹賀新年
晩香坡市バウエル街三四七
榮樂
演子雪子好子
電話シーモア一七一四エル

謹賀新年
舊年中の御眷顧を深謝し
併て倍舊御引立を願上ます
晩香坡市バウエル街三一四
富士チヤプスイ
電話シーモア五四〇
ツリニチー四八二三

謹賀新年
晩香坡市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

謹賀新年
舊年中の御愛顧を感謝し
尚本年も倍舊の御引立を願上ます
晩香坡市バウエル街三一八
日光酒樓
電話シーモア五五一七

謹賀新年
舊年中は皆々樣の御愛顧を辱ふし重疊を以て繁盛
裡に越年する事が出來ました
本年も倍舊の御引立に預り度く一層大奮發して美
味なる御料理を奉上げ平素の御愛顧に酬ひる爲め
努力いたします
晩香坡市バウエル街二五二
支那料理
新北京
電話シーモア五七七四―二五一七

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二五二
支那料理
新北京
電話シーモア五七七四―二五一七

謹賀新年
大衆的支那御料理
朝日チヤプスイ
晩香坡市バウエル街三五八
電話ツリニテー一七二三

謹賀新年
晩香坡市バウエル街參參參
鈴蘭
鈴子
電話ダグラス五五一五

謹賀新年
うどん、そば、御料理
晩香坡バウエル街二五〇
天狗
電話シーモア二五二八

謹賀新年
晩市アレキサンダー街三六二
吉野亭
電話ドグラス七二三

謹賀新年
不相變お贔負に願ひます
晩香坡市バウエル街二四三
目さまし
狩谷つね
電話シーモア五八二四

謹賀新年
本年も不相變御贔負に願ひます
鎌田玉子
晩香坡市バウエル街弐弐九
電話ダグラス五五七八

謹賀新年
昨年は有難うございました
尚今年も宜しく御願致します
晩香坡市ゴーア街一三〇
樂々亭
玉子平鶴
電話ダグラス二七〇六

謹賀新年
何卒御贔負に願上ます
晩香坡市バウエル街三二二
金太郎
惠美子
花子すみ子
電話シーモア二〇〇三

新年來
特輯

百鬼夜行

（幾齋北斗畫）

悟道軒圓玉作

（丸尾彰鳩譯）

（昭和二年一月三日第二百五十三回）

一股目の激戰

大島大介は五稜郭及びその付近で戰つた、大島君の部下となつて戰つた者の話によると、大島君は戰ひが始まると、まつ先に立つて敵に突入し、敵を斬つて斬つて斬りまくつたさうです、すると四月の廿三日の早朝敵がおして來た、幕軍は胸壁によつて防戰したが敵軍は新手を入れかへ入れかへ攻めよせる、ために幕軍は次第に後退をはじめた、大島君は最後まで踏みとどまつて敵と戰つたが、とうとう敵軍に押しまくられて、五稜郭より少し以前の流川兒太郎が六人を率ゐてこれへ押しよせた、大島君はこれを見て大層喜び「イヤ、よく來てくれた、敵はなか〳〵につよいよ」

流「こいは地者が引うけた」

と劍を揮つて指揮をする、ところへ流川は部下の兵を指揮し、これまた敵によつて戰ふ、敵は多くの死傷者を出したが更に屈せず攻めよせる、これを見て流川が俺に讓けといつたが胸壁を飛びこえて群がる寄手に斬り込んだ、かくと見て部下の兵はこれまた胸壁をこえて、寄せ手に斬り込んだ。

こゝで敵をおしやぶる、奮手は大いにある、それに大島君は戰ひ上手のことゝ後備部隊並に二十餘名の援軍もあらう、さうなると五稜郭も危險なことになるかも知れないと思つたが、しかしながらこゝに居る者は皆決死の覺悟である、幕軍のために前後を取り切られて不利や知りつゝ、戰はねばならぬ、さしたうなれば從者らに死出の旅を押すばかりである、こゝで死ぬれば仙に死に場所のないわけで口惜しい、さアさアから大島君は戰にやぶれても更に引きかへして

ヤア八郎は大島君のもたらした意見に同意を表した、そこで事前後策の具體になることを評定したといつて、つぎにこゝに一時にこゝの兵は皆澤といふことになつた、大島君は夫も一時に大島君からこの中の兵をさいて、それで不二より應より、あなたに逢へな、魂が嬉しい。三步目

初日の出、今年こそはの二人の運が乘つて來さうな、波の色

○

月にもいとうた、人目を今朝は添うて晴れく、、初日の出

○

降けるか、それとも降くか、岩打つ波に、度胸を決める、初日の出

○

世の中も、街も家も、綺つた中に、穢らぬ初日と、心意氣

○

お互に、苦勞の三年、お蔭樣で消して、眞赤な初日を、拜む朝

○

餅は白粉、旭は紅の、天地一ばい、初化粧

○

新年都々逸

謹賀新年
晩市バウエル街三三四
中村花屋
電話シーモア五九三五

謹賀新年
晩市ユーニオン街二〇二一—二三三
イーノー花屋
佐々木菊三郎
電話ベエビュー七八八一

謹賀新年
井出花屋
井出六太郎
電話ハイランド九二八

謹賀新年
晩香坡市メーン街二七五一
食料品商
西山商店
西山霜吉
電話フェヤモント五八八九

謹賀新年
バウエル街二四九 誠心堂內
伊吹運送舍
シーモア四八八四
電話 住宅ハイ一〇三三エル

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二六四
天野運送舍
杉山新吉
電話ダグラス三〇五九

謹賀新年
晩香坡市バウエル街四六三
丸忠運送舍
電話ハイランド一五六六

謹賀新年
白味噌、清酢
糀製造元
晩香坡市バウエル街二四一
天野兄弟商會
電話ハイランド五五二六エル

謹賀新年
昭和八年元旦
横濱正金銀行
シアトル支店

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二九七
ビーシー薪炭會社
電話ハイランド九一五
住宅電話ハイランド二八九五アール

謹賀新年
晩香坡市コムマーシャル街埠頭
ターミナル薪炭會社
電話ハイランド五四四三
夜間ベエビユー八六二三エル

謹賀新年
晩香坡市バウエル街埠頭
タイー薪炭商會
電話ハイランド一三八三
夜間同 六一六七

謹賀新年
マリン薪炭會社
西村善七
電話ハイランド五六〇五
ヴイクトリア街埠頭

謹賀新年
男女着類家具商
滋谷商店
八七三—四七三街ルエウバ市晩
五二五五スラグド話電

謹賀新年
昭和八年一月元旦
古屋商店
晩香坡市西へスティンスグ街四六
三三九二アモーシ話電

新年の句

あじろ會、すみれ會、青葉會　同人

◇「あじろ會」句稿◇

新年雜詠

佳作（順不同）

到着順

元旦や大空晴れて海明り　　笛水

悔ひ出ず狹霧も晴にありにけり　　同

元旦や何はともあれ酒一つ　　來人

勅題「朝海」に因みて

雪の家の初雞ひゞく朝の海　　雜詠四句

住吉町　　梅節

門松の雪にふれ初を待つ　　同

門松や朝は淋しき雨の音　　同

門松の奥ひそかなる灯影かな　　同

門松や日移り早き右たゝみ　　同

門松に日の影すめる且かな　　同

門松の雪にかゞよふ日射しかな　　同

門松や御は靜かに明けそめし　　同

門松に朝の風の冷ゆる色　　同

門松を立てゝ人なき役揚かな　　同

佳作（順不同）

元旦や大川松の色冴す　　梅川

御降りや大門松の色冴す　　同

御降りの灯に居て安き宵心　　同

御降りの宵やひそまりかへる街　　豐波

御降りに神油の鯉の動きかな　　同

題「門松」

米人選

（天）　玉星

（地）　明星

（人）　同　上

所感三句

愚者卽ずゼネバ會議の新年し

天つ空大洋は日出る國

無に歸れていつそ氣樂な年の朝　　江水

◇「すみれ會」句稿◇

勅題　朝海

米人選

（天）　玉星

白梅や海昇るなる朝明り　　梅節

（地）　同

初日の出海は音なく暗に染み　　同

（人）　同　上

元朝の海靜かなるひゞき　　同

題「御降り」

米人選

（天）　梅節

眠りゆく御降りの家並かな　　同

（地）　梅川

御降りや日に好き間の松の色　　梅節

（人）　玉星

御降りや一輪の梅明り　　同

御降りの松は色冴光かな　　同

題「初風」

米人選

（天）　梅節

日の影のゆつたりと初風げる海　　同

（地）　同　上

松の色冴やかに初風の磯　　同

題「朝の海」

佳作（順不同）

明星

山影の冷やかに初風げる海　　同

初風や納屋に高く澄める空　　同

初風げる海原遠く光る影　　同

初風や豐かに見ゆる星畑　　同

初風や湖の廣さをすめる空　　梅月

初風の波おだやかや湖の鳥　　同

初風や海面かよふ朝日射し　　玉星

初風の海をはるかに浮く畑　　梅節

初風の靜けさつくす海の曉　　齋日園

◇「青葉會」句稿◇

朝の海

倫由

朝から手伝らの唄の何だかたのもしく　　同

御ゆく人々のその顏も疲れてゐるらしいこの頃である　　同

落葉が狂ふ音に更けゆく星夜の嵐　　呂風

雨にとり殘された柿が一つ赤い　　同

月の落葉に雨しづとりとチムニーの煙　　同

雪をついて務こもる船室の窓々　　同

探がれ生き殘り分水にそそら枯れ蘭風落ちし　　同

家にはさゝれ湖の雫は雪の果くれし紙の暖くい　　同

うで栗日本の果くれし紙の暖くい　　同

はつきり月の面の小枝や窓の影　　同

雨降りの下行きかふ見てるみぞれとなり　　同

もの靜かさの元日の港で鳴り飛ぶ　　同

海からの高さにわつて元日の雪の蜂並び　　同

冬となりわれ生きてゐるだけでもうれし　　同

今年谷〳〵と妻と子は默つてあものをしてゐる　　同

朝から手伝らの唄の何だかたのもしく　　同

御ゆく人々のその顏も疲れてゐるらしいこの頃である　　同

落葉が狂ふ音に更けゆく星夜の嵐　　呂風

雨にとり殘された柿が一つ赤い　　同

月の落葉に雨しづとりとチムニーの煙　　同

雪をついて務こもる船室の窓々　　同

探がれ生き殘り分水にそそら枯れ蘭風落ちし　　同

家にはさゝれ湖の雫は雪の果くれし紙の暖くい　　同

うで栗日本の果くれし紙の暖くい　　同

はつきり月の面の小枝や窓の影　　同

雨降りの下行きかふ見てるみぞれとなり　　同

雜詠

『木の芽會』同人

（初晴れて年賀状　　千曲）

（標木の眺り海晴れて鳴びび　　三千）

（雪嶺ふ人を流しつめて暮れ　　扶三）

（う一月夜一軒家の灯の見ゆる丘　　同）

（ねこびつしよりや夜なかのみぞれ　　同）

（門のさゝ氷雪のひとりで啼いてゐる　　同）

（てゐれば雁さはかりの夫と子でツリー飾つてゐる　　同）

（風なしで夕ひと時を窓の明り　　一潟）

（オーンに着けなほ元日の工船の休ずり　　風）

冬日雜詠

小宮山扶三子

水道を凍らせし今朝は久々に井戸の蓋あけ水汲み上ぐる

井戸の蓋れば仄のかに水蒸氣の立ちてゐるなり霜凍る朝

つるべにて汲み上ぐる水に浮きてゐる松の落葉は掬ひ捨てたり

あの頃は隣にも井戸がありしがと住み古りて長き年月を思ふ

井戸の水は冷たからめと觸りて見る子には珍らしき井戸の水なり

この井戸の水にて汝に産湯せしと昔子に昔の物語りする

人住まぬ隣の家の屋根の霜ひと日解けねば見つゝさびけき

大き家建てゝ住みしは一年なり貧家の札に霜は白しも

霜ふみて朝を出でゆく子の姿父に似しかも肩幅の廣き

ぬねむりつゝ時々薄目をあけて見る子の勉強は身に入り難し

早く寢よといへど蒲團にいねざるは明日の試驗の氣にかゝるらし

幾よさも夜更かし續けば揮われのひたに氣づかふ子の健康を

むりをしてとき成績を得むとすなからだいとへとひたすらにいふ

ひたむきに人の言葉のはしはしに憤る事も今はあらなく

吾が心すみきはまれば一筋に動かぬ道をゆきて安けし

初富士や朝の海に縮の如し

初雞に四海の闇を開きけり　　洞貝

初日影海の底まで及びけり　　峰月

大海の果を彩る初日かな　　竹嵐

金色に初日照せり朝の海　　春雨

四方拜に和して靜かや朝の海　　孤舟

入船の綾なす海や初日の出　　葉子

初日さす朝の海や波靜か　　眺湖

初荷船艫音勇ましく朝の海　　みどり

初日さす朝の海や波靜か　　あやめ

初かすむ漁村の朝や海靜か　　珍太

四海波靜かな朝や國の春

新年雜詠

芳翠

一ト年の運を射止めぬ弓始め

落ち附かぬ氣を落ち附けて松の内

つきそれて猫に取られし手毬哉

初雞の聲に開きぬ松の内

冷きより熱の增しけり水祝ひ

謹賀新年

フレザーミルス
河畔句會同人

渡邊宇平

戸田耕作

丸山喜一

安田祐治郎

二階堂辰治郎

藤原太郎兵衛

岩淵榮吉

渡邊皮骨

謹賀新年

代書日本行船切符取次
電療機並に附屬品一切販賣
及修繕
新西院フロント街五四三
便利社
中川義治
郵函六〇七電話三二六
住宅電話一二八アール

謹賀新年

新西院市
日本人合同教會
牧師　赤川美盈
信徒一同

謹賀新年

晩香坡市パウエル街五〇〇
晩香坡
日本人合同教會
牧師　清水小三郎
外信徒一同

謹賀新年

謹んで新年を賀し
同胞の發展を祈る
聖公會
牧師　中山吾一
信徒一同

謹賀新年
日本人カソリック教會

謹賀新年
晩市東カドバ街四三〇
日本人聖公會

謹賀新年
新西院本願寺佛教會
電話一〇九八エル

謹賀新年

新西院市
佛教婦人會
佛教青年會
佛教處女會

謹賀新年

フエアビウ佛教會
同青年會
同婦人會
女子青年會

謹賀新年

晩香坡市
本派加奈陀佛教會
同婦人會
同青年會

謹賀新年

本派加奈陀佛教會
開教使　石黑成章
開教使　多田覺哉

謹賀新年

日蓮宗佛教會
立正婦人會
立正青年會
立正修身學校
晩市東ベンダー街七二二

謹賀新年

和洋雜貨
食料品商
西口商店
新西院コロンビア街八三七—八三九

ナーシタキシー
電話一一六一—一八八五

Vol. 28 No. 7795 Monday January 2 1933 TAIRIKU NIPPO 昭和八年一月二日（月曜日）第七千七百九十五號

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.
新年號
〔第一〕

少年少女のよみもの
牝鶏を探す三人娘の話

宮原晃一郎

（一）

山の奥に一人の女が住まつてゐた。その次に三人の娘があつたが、ひどい貧乏なので、何んにも持つてゐなかつたけれど、たゞ一羽の牝鶏をもつてゐた。その牝鶏は朝一つ卵を生んで、晩にまた一つ生むの迄つた。

どうかして、その牝鶏が見えなくなつたので、大さわぎをして、そこいらぢうをさがしてみたが、何處へ行つたものやら、少しも分らなかつた。そこで一番上の娘が、すつと遠くまでさがしに出かけたけれども、何處にも牝鶏のかげすがたも見えない。困つてゐる高い山のふもとまで、とぼとぼやつてくると、一軒やがうたゝずまひがする。

牝鶏は嫁ぶよ山の中
牝鶏はゐる土生の底

娘はその歌をたよりに、山へ〳〵つて行くと、果下の深い〳〵穴の中にぼつくりとおちそんでしまつた。ずん〳〵おちて、どう〳〵土の底までおちてしまつた。その物音を聞いて、ひよつこりと一人の男がむらはれた。この山の主である。

「おゝ、きれいな娘だね。お前は此處へ何しに來たのか。」

娘はゐる土生の底
牝鶏はゐる土生の底

娘は大きな聲もどや〳〵の男を見て、びつくりしてしまつた。

「どんでもない！　わたしは牝鶏がゐなくなつたので、さがしに來たら、穴の中におつこちて、どうしてよいやら困つてゐるのです。どうぞ私をこゝから出して下さいまし。」

「おゝ、それやいとやすいことだ。わたしは牝鶏をさがしに出た娘さんの行方もたづねて……」

「おゝ、それやいとやすいことだ。わたしは牝鶏をさがしに來たのだ。それから

西歳エピソード

（一）奇才、伊藤宗看（二）巴屋の勝山
（三）兩國梶之助　四）四代目芳澤あやめ

金

（佐藤松華畫）

伊藤宗看

「宗に去られてのち来ない」と恐る。・・・・・と人伝せした上で承れば「宗は出来ない」と、當時入門である都賀川所の大關綱から破門が出たので、爾に其の事を知はれてゐた醫院長其衛は、日頃からこの勝山の男を男とも思はぬやうな、その美しい姿を、何となく心憎いまでに思つてゐた。そうかして一度は、あの物に動じな

山の前へ進ひと、いきなりドシンと尻餅を搗てながら、腰の脇差を抜く手も見せず、すれ違ひ様に、勝山の髪を摩からスラリと切つて落した。——道中を見物してゐた人々は、この仕業の狼籍を見て、思はずソッと聲を呑げてさわめいた。

しかし、當の勝山は、顔色一つ變へなかつた。彼女は顔に微笑さへ浮べて、もよめく人々も知らぬ氣に、靜かに御は入文字を踏んで歩いて行つた。その足元に些の亂れもなかつたのだ。

これを見た都犬權其衛は、あまりに容貌はらつた勝山の態度に、思はず身をふるはせたと云ふ。

「恐ろしい娘だが、あの時ばかりは、斬つた俺の方が恐ろしかつた」

そう云つて、よく述懐したさうである。

兩國梶之助

勧進相撲の時代になつてからの第一世横綱を明石志賀之助とすれば、兩國は第二世の横綱である。身の丈六尺一寸五分、體重四十貫因州の生れであると記錄されてゐる。——「角前髪の角力取、櫓をさす事元祿中に盛んにして兩國より始まる」とある書に俤はつてゐるから、櫓は彼が差し始めたものらしい。

元祿十五年丙歳の夏、糺の森の眞、高野原赤宮の勧進相撲の折、彼は勧進方の大關として出場した。

ある夕暮、相撲が果てゝから、彼は筆て贔屓を受けてゐる新田村の某藩某の家へ、寄り方の大關御用木無次右衛門と一緒に招かれて行つた。

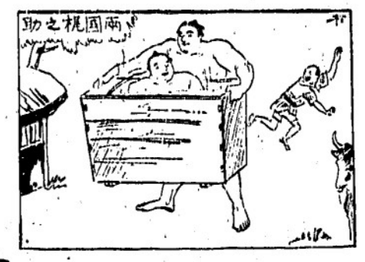
その家の主人は、力士達への馳走のため、特に大きな据風呂を作つて置いたので、早速それに湯を

沸かし、

「まづ一ばい入つて汗を流しなさい」

と、勧めてくれたので、最初に御用木が馳走を受けることになつた。

御用木も兩國に劣らない大男であつたが、樂々と湯槽につかつて好い氣持になつてゐた。すると一緒村の方から、一人の百姓が牛を



つれて歸つて來たが、別棟への大きな据風呂が丁度通路に當るその家の門口に置いてあるので牛を通すことが出來ない、そこで牛飼は

「すみませんが、どうかその風呂桶をどうかして下さい」

と、湯に入つてゐる御用木に賴んだ。彼ももつともなことゞと思つたので、風呂から出ようとする樣子を、座敷かて見てゐて兩國が飛び下りて來て、

「よしッ、私がその儘どけてやらう」

と、云ひながら、御用木が中に入つてゐるまゝ、その風呂桶を、輕々と持上げて傍の方へ取り退けた。それを見てゐた牛飼は、怪物とでも思つたか、顔色を蒼青にして慌へながら逃げだして行つた。

芳澤あやめ

もと橘家圓江といつた人で、安永元年丙歳の秋、初めて女形に進んで舞臺を勤めてから、順次名を擧げて、文化四年五十三歳の時あやめの名をつぎ「眞上々吉」の位に置かれ、その美しい容貌と委に依つて、異常の人氣をあふつてゐた。主として意氣向きの役を得意としてゐた。

その秋の晴れた一日であつた。彼は客に伴はれて、郊外の某處へ遊山に出かけたのであつた。——途中から何かしら氣分が惡さうな樣子であつたので、とある茶店で一休みすることになつた。

「あんた、どうかしたかい」

と客が尋ねると、先刻からうつ向き加減に身體をくねらせて、しきりに額髮のあたりを片手で押へてゐたあやめは、靜かに顔を上げると、

「別に、どうもしませんけど……」

と、云つたが、重ねて客が、

「頭でも痛むのかい」

と尋ねると、あやめは一寸頷きながら、

「また何時もの血の道が起きたんでせう」

と、云つた。——客もその答へには一寸面喰つた形で、危く吹き出しさうになつたが、

「まるで、ほんとの女のやうだなア」

と、今更に、白粉と振袖に包んだ、その女になりきつた仇つぽい姿態を凝視しないわけには行かなかつた——。

巴屋の勝山

寛永九年丙歳十月十二日、吉原仲ノ町通中の時、黒繻子の小袖に金糸でもつて、緑苔山がある、川の淨氷解けてゐないとゞ袖はぬれけると云ふ、自作の和歌を縫ひあらはしたものを着て、八文字を踏んで、當時の人々の眼を奪はせた、どこの遊女勝山。勝山樣、丹前風呂の客も、みな此の勝山から出たものである。

彼女はもと丹前風呂、山形某衛方の湯女であつた。

この丹前風呂とゞいふのは、當時神田鍋子町の丹後奏の邸内にあつたのでその名があるので、この丹前風呂から、丹前風父は丹前六法なぞいふお客を市非に候の間に流行させたものである。そしてその風呂桶には多くの美しい湯女がゐて遊客を招いた。勝山もその一人で、後吉原の廓に名を馳せたわけである。

その後湯女が禁止されたので、彼女も吉原の出口三郎左衛門の抱

い、勝山の度胸を賞いて、驚かしてやらうと云ふ、惡戯心を抱いてゐた。

ところで、その日のことである。自慢の勝山相に、例の人眼を驚すやうな華やかな衣裳を着飾つて後の指一本の指差を許して兼ねて來て、

「看樣子、衣元へ歩を打ちに

の通り動を動かし、ゾッと嬉を眺ませた——。

やがて五十八年日の報告が來た

「ツーム——これで、次に衣元へ歩を打つては、弟の勝ちが定マ、後の指一本の指差を許して兼ねて來て、

——こゝ衣敗つたらもう駄目だ。

新春の鶏

野口幽谷筆

謹賀新年
晩香坡市バウエル街四五七
ユニオン魚店
電話ハイランド三三六—五四九

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二六二
鮮魚肉類食料品商
木魚店
茶木太三郎
電話ダグラス五五四二

謹賀新年
晩香坡市バウエル街三五五
スター魚肉店
店主信岡良太郎
磯貝惣太郎　主任中村寅治郎
電話ダグラス五三一六

謹賀新年
舊年中は多大の御愛顧を賜り奉鳴謝候
尚本年も不相變御引立の程御願申上候
晩香坡市バウエル街參參參
川魚店
一同
電話ダグラス三八六—三八七

映畫女優とスポーツ

——(女優に好かれるスポーツマンは?)——

加山久夫

(昭和八年一月二日)

えいぐわ(ぢよいう)

六大學のスター マスコット

早稻田大學の野球部各選手の寫眞には、日活スターの山五十鈴の姉妹のプロマイドが添つてゐる。

この事は誰かゞ言ふと眞實の事であるが、この眞實は誰かゞ言ふまで、松竹も三羽烏も山田五十鈴も知らぬ者もない。

數年來の大下君が、「君、山田五十鈴は大好きなんだから、僕のマスコットにしやうぢやないか」と、或晩、激しい練習を終つて後の、夕食がすんでの、樂しいくつろぎの場で言ひ出した。

「好からう」と眞先に應じたのが、早慶戰のヒーローとして謳歌されてゐる佐藤君。それにつづいて、皆んなが贊成しちやつて、どう〳〵山五十鈴は早大野球部のマスコットに祭りあげられる事に早稻田組の伏見信子から、それ迄聞いた山五十鈴、それ迄は知らぬ顏の半兵衛をきめこんでゐたが、俄然それから後は七轉八倒の大騷ぎとなり、遂には七人の「都の西北」とまで謳はれた大マスコットにしやうぢやないか」と、

花岡菊子の挿話

松竹の蒲田撮影所では最近陸上競技部が設けられる山で、結城一郎わたりは喰さへ(あれば正月左手の廣場でランニングの練習をやつてゐる。男優組で一番熱心なのは、結城一郎で、女優組では花岡菊子と伊達里子と井上雪子の三人である。

この中で菊子、花岡が一番熱心で、晝休みにはランニング・パンツをはいて走つてゐる。その白い足に大部厚の男優達、すつかり見慣れてしまつて、一人がつくづくと「スポーツつて、ありがたいものだね。」は違ひない。

男優達に白い肌をみせて、腕の太さにくれさしてゐる花岡菊子は大のスポーツ・ファンで特にランニングが好きである。

おや、ランニング選手で誰が一番好きか聞くと、小さい聲で、「山岡さんがもつと好い男だつたら好きに成れるんだけども——」とは、山岡陸徳、お前の方の耳がかゆかつたとは無かつたか。

日活女優のスポーツ・ファン

松竹では女優中花岡菊子を筆頭で、スポーツ・ファンのナンバーワンに位すべきであるが、日活となると、スポーツ・ファンのスター揃ひである。——で、何れをナンバーワンと定め難い。先づ伏見信子と信子の姉妹は野球、水泳ランニング、何でも好きの上に大が付く程であるが、昨秋の早慶戰には大阪から飛行機で見物に來た程のものぼせ方である。

それでゐて、信子は早大贔屓であるのだから、早慶戰となると、何方が勝つても姉妹戰が始まる。——早慶戰伏見姉妹を掴み合ず、なんて駄ぢやれにもならない。

水泳は夏川靜江が第一のファンであつて、一昨年あたり迄は高石を大の贔屓にしてゐたが、昨夏、ロスアンゼルスのオリンピックで北村少年が、千五百米で優勝して以來といふものは、大の北村黨となり、「私、一生結婚しないで北村さんを養子にして、死に水をとつて貰はふかと知ら」なんぞと、お婆さんらしいことを言つてゐるが靜江さん、どつちや仆小附でなく、お婆あちやん娘になつては駄目ですぞ。

靜江の外にも、水泳黨は數多い、「一夜、水泳黨のスターのみが揃つてゐる席で、かりに誰さんが、水泳選手と結婚することとしたらば誰を選びますか、といふ筆者の問ひに、次の樣な返辭があつた。

濱口富士子は斷然、大橋田とさうである。川上獅生は、石原田とのこと。蜂谷子が、日本選手でなく、ソイズ・ミラーと答へたは、さもありなん

森靜子と拳鬪家

帝キネの森靜子は誰も殺さぬ樣な顏をしてゐるが、あれで拳鬪が大の好きで「ボカリ、ボカリつてなぐりつこをしてゐるのをみてゐると、斷然愉快ですわ」といふか多いのよ」だそうだから、此が本當の下手の横好きといふ奴かな。

山路文子と庭球

帝キネの山路ふみ子は將來を最も期待されてゐる新進の一人であるが、彼女の庭球は相當堂に入つてゐる。帝キネの庭球部でナンバーワンの定評ある、河津清三郎あたりと、毎日ポンポン球を打ち合つてゐるが、彼女の前途の如く、庭球も又素質に惠まれてゐるさうである。——多幸な彼女に、いやます幸あれと祈つておく。

大江美智子とゴルフ

市川右太工門プロダクションの大江美智子は、寶塚時代から、ランニングで知られてゐたが、このごろはランニングはやめて、ゴルフに凝り出し、毎日、男と二人連れでゴルフ場通ひだそうだ。男つて何者?といふので、探訪したところが、彼女のゴルフ技は、前に書いた河合映畫の琴糸路のスキーと同じで、横好きらしいと、右太プロ雀がさへぎりあつてゐる。(完)

寫眞の說明

(上段)右より山田五十鈴、伏見直江、花岡菊子、琴糸路(中段)右より井上雪子、大江美智子、伊達里子、森靜子(下段)右より、山路ふみ子、伏見信子、夏川靜江、濱口富士子

水上ハキー戰

●ルーマニアがウルグワーに●アメリカンスがセントリトホルつ勝つ

スポーツ狂の映畫女優

選り拔きの花形十二名

花名二のスルゼンサロ

(左)武藤英子(右)渡瀨丸子——二人とも映畫界で美貌を謳はれてゐる人々

演——二人とも堅氣の細君君ですさうな

謹賀新年

昭和八年一月元日

海産物輸出入商

晩市東ジョージヤ街二四三

松山商會

松山豊藏

電話ダグラス八一—八二

謹賀新年

昭和八年一月元日

海産物輸出入商

晩市東ヘステングス街二〇八

ローヤル銀行二階十二號室

嘉祥商會

鈴本商會

田中商會

電話シーモア六一五六—三四四七

賀正

昭和八年元旦

日本郵船株式會社

シアトル支店長

澤井謙吉

觀海齋量

秘密結社その他
滿鮮みやげ話

山崎寧（口述）

滿洲國々務總理鄭孝胥氏書——（山崎本社長に贈られもの）

刀槍に傷かず、
彈丸が身に近づかずと
迷信の紅槍會匪
元をたゞせば純然たる農村自衛軍

滿洲經濟の癌は何と言つても匪賊である、明けて昨年の秋、滿洲を視察した陸軍參謀の有志が歸朝後から見て、滿洲の匪賊觀には、從來の觀念を改めねばならぬ點が多かつたと言つて居るが、實際滿洲の匪賊といふものは如何なるものであるか、一口に匪賊と言つても、そのうちには、反吉林軍や、反滿洲軍やの兵匪、それから俗にいふ馬賊の類を含んで居るし、又次に述べる「紅槍會匪」や「大刀會匪」をも含んで居る——そのうち一番持てあますのは馬賊であるが、主として黑龍江省、チチハル寄りの山間の平原地帶、興安嶺奥地、寧古塔、拉吟、海林、牡丹江、綏芬河、琿春、延吉、敦化、撫松、臨江、輯安、通化、安東、鳳凰城、遼陽、奉天、新民屯、錦州、山海關、熱河、承德、赤峰、洮南、齊齊哈爾、海倫、龍江、墨爾根、黑河、滿洲里、海拉爾、博克圖、興安嶺、ハイラル、ハルビン、綏化、鐵驪、寧安、牡丹江、東寧

天下の名勝『金剛山』
壯觀の一万二千餘峰
朝鮮に於ける准『國立公園』
戰で踏破した山崎本社長（口述）

朝鮮總督府が內地の國立公園に準ずる施設を始めて居る金剛の經營に就ては、既々卓にしての經營に就ては、既々卓にして居たので、明けて昨年の五月十七日から六月一日にかけて山谷を跋渉して見たが、聞きしに優る壯らしいものである

◆

金剛の內、外、秋、冬の四金剛に分れて居て、其の廣さが約百、東西四里、南北七萬三千餘町歩（一町歩は三百坪の小區）に分れて居るから、充分に探勝するには二週間位かゝるが、私は六日間で四金剛ともに一通り跋渉して大體の輪廓を攫んだ——一年一萬四千餘の探勝客が內地の國立公園に準ずる施設を始めて居る金剛の經營に就ては、既々卓にして居たので、明けて昨年の五月十七日から六月一日にかけて山谷を跋渉して見たが、聞きしに優る壯らしいものである

◆

金剛の內、外、秋、冬の四金剛に分れて居て、其の廣さが約百、東西四里、南北七萬三千餘町歩（一町歩は三百坪の小區）に分れて居るから、充分に探勝するには二週間位かゝるが、私は六日間で四金剛ともに一通り跋渉して大體の輪廓を攫んだ——一年一萬四千餘の探勝客が內地の國立公園に準ずる施設を始めて居る金剛の經營に就ては、既々卓にして居たので、明けて昨年の五月十七日から六月一日にかけて山谷を跋渉して見たが、聞きしに優る壯らしいものである

◆

金剛の探勝には、元山方面若くは城から行くのであるが、內金剛は京城から京元線で約三時間の鐵原驛で下車、電鐵に乘換へ約一時間から長安寺迄で自動車で行き、外金剛は元山から汽車で鐵嶺まで行き、夫れから自動車で溫井里に出るのである、海金剛は溫井里と自動車で聯絡されてあり、新金剛は內金剛から廻るのが普通である

◆

金剛山の探勝には、元山方面若くは城から行くのであるが、內金剛は京城から京元線で約三時間の鐵原驛で下車、電鐵に乘換へ約一時間から長安寺迄で自動車で行き、外金剛は元山から汽車で鐵嶺まで行き、夫れから自動車で溫井里に出るのである、海金剛は溫井里と自動車で聯絡されてあり、新金剛は內金剛から廻るのが普通である

◆

三人で四圓、外に御飯代一圓といふ事であつた

◆

今では山麓まで自動車も通つて居るし、總督府で道路修築や、登山ケーブル車建設の計畫などをして居るやうであるから、近いうちに遊覽がもつと容易に出來やうになると思ふ

◆

金剛山の探勝には、元山方面若くは城から行くのであるが、內金剛は京城から京元線で約三時間の鐵原驛で下車、電鐵に乘換へ約一時間から長安寺迄で自動車で行き、外金剛は元山から汽車で鐵嶺まで行き、夫れから自動車で溫井里に出るのである、海金剛は溫井里と自動車で聯絡されてあり、新金剛は內金剛から廻るのが普通である

◆

此の修行は一日半で終るが、家事へ歸つても、精神鍛鍊の爲めに、饅頭と水のみを喫し、鹽を絶ち、女と同居は勿論、話も避けること四十九日、それで不死身が完成するといふのである

◆

此の修行は一日半で終るが、家事へ歸つても、精神鍛鍊の爲めに、饅頭と水のみを喫し、鹽を絶ち、女と同居は勿論、話も避けること四十九日、それで不死身が完成するといふのである

◆

一九二八年の事であつたが、滿洲の朝鮮國境地方に大刀會匪が、官憲の農民壓迫に反抗して起つた事がある、其の勢力といふのは初め數百名、盛んな時でも大したものではなかつたのであるが、何分にも不死身と自稱する彼等の討伐には道の張作霖も手古摺つて、吳俊陞を總司令に、約一萬の軍隊を繰出してやつと鎭壓したが、其の經驗から刀匪討伐の方略は次の如くせよと言つて居るが、是れは大部分『紅槍會匪』にも當て嵌まるものなのである

（一）刀匪は邪術なるを自覺し敵を輕蔑して居る故、それは自衛の法術が未熟な爲め成功しなかつたと考へ、決して失敗を認めない故、彼等は根本的に絕滅しなければならぬ（といふので吳督軍は十二歲以上の男子全部を殺させ、家屋は全部燒き拂はせて居る）

（二）刀匪山中の巢窟を探査し、且つ其の糧道を斷つ事

（三）刀匪と交戰する時は、自兵戰によらず、遠くより射擊し、接近して來たならば、退却して柔術を續け、彼等を疲らせてから擊滅する方法を執る事（といふので、彼等との戰鬪には、主として、進退の神速な騎兵を用ゐて居る）

（四）刀匪の法術は僅か二三時間を保つ丈けであるといふから、彼等と急戰は不利である、柔術によつて疲れさせてから捕殺するのは、此の點から言つても良法である

（五）刀匪は宿食して居る時は邪術を施さず、彼等自身も、此の時は刀銃を避ける能力がないものとして居る、從つて宿食の時に乘じて不意に攻めるのが有効である

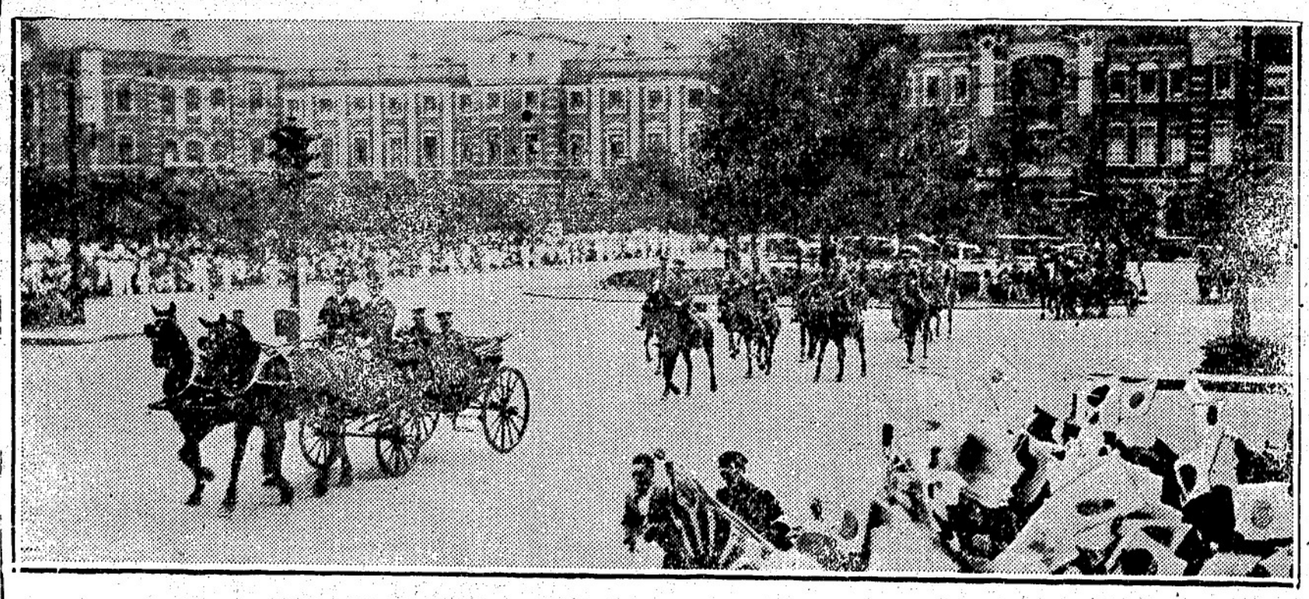
（以下第四面の續き）

（二）次には數間を隔てた所に修力といふものは非常なもので、支道者を立たせ、矢張り指定の者者をして、ピストルで其の胸を狙撃させる、併し彈丸は貫衣を洲にも相當數に達して居る事は、すら破らない、是れは孫悟空が本軍が彼等を手なづけず、張學良側に走らしめたのは、手落ちであつた樣に思はれるのである

何れにしても、紅槍會匪の團結はじめ常に大刀を背負ひ、口に呪文を唱へ、婦人の手になる食物は一切採らず、又豆油を煮沸して是に呪文を吹き込み、戰陣に於て敵に吹きかけると、不死身の効力は益〻大になると信じて居る、從つて戰鬪に於ては、護符を書いた彈丸よけの胸當てを着け、銃、槍、青龍刀、棍棒などの武器を揮つて猛烈に敵に突つ掛る、而かも戰場に向ふ前には、必ず麵類で作つた七つの人形を喰ひ、同時に一枚の護符を燒いてのみ、口中に呪文を念じ乍ら突進するのであるが、日本の軍部で研究の結果によると、右の護符には非常に强烈な昇汞劑が含んで居り、それを戰前三十分にのむのであるから、激しい昇汞劑となつて、狂鬼の如く戰ふのだと言ふ事である、彼等の仲間でも、右の護符をのんだ効力は二時間繼續すると言つて居るが、或は藥劑の効能が二時間丈けしか續かないのかも知れない、尤も彼等は時によつて、護符の外に昇汞劑と稱するものをのむ事がある、それを滿鐵の中央試驗場で分析して見たら水銀劑辰砂の結晶であつて、昇汞劑としては役に立たないものだといふ事であつた

迷信の深い匪賊の討伐
張作霖も手を燒く

（上圖）內金剛の入口に當る山谷を跋渉する朝鮮人の一團
（下圖）內金剛の溫井里に於ける山崎本社長と籠に乘つて居る山崎本社長



全身に油を塗つて不死身になる
五十万の大刀會匪
魔術の護符の正體は昇汞劑

滿洲の匪賊中に總數五十萬と言はれる『大刀會匪』がある、頗る慓悍な爲め剛勇な仙境第二師團さへ屢〻是れには惱まされて居る、此の本據は主として滿洲と朝鮮の國境地方であるが、是れも『紅槍會匪』と同じく白蓮敎の支流であると言はれ、本來が山東地方に起原を發した地方部落の自衛團体である點、幷に會員が『刀槍身に入らず、彈丸身に近づかず』と迷信して居る點は矢張り同じである、唯だ此の會員は紅槍會員よりも、比較的資産を有する者が多いと言はれ、且つ此の方は入會の手續が簡單である

◆

即ち會員たらんとする者は、其の土地の首領の指圖に從つて老師の許に至り、入會金三元を納め、會規を守り、逆反した場合は如何なる處分でも甘受するといふ誓約をさへすればよい、不死身の術の修練は紅槍會と大同小異であるが入會すると即日から修行を始める先づ齋戒沐浴して神を拜し、護符を燒いて嚥み下し、全身に黑色の油を塗る、此の時に本人は死せるが如く眠る、油は一夜のうちに全身に浸み込んで、刀を以て斬つても傷かないやうになる、更に又呪文を叫べて護符をのみ、外面が黑布で內面が紅布の胸當てに一千二百の名を書いたものを身體に着けると、銃丸が決して身に當らなくなり、假令當つて死んでも、數時間後には蘇生するやうになると言ふのである

◆

其他にも滿洲には種々の秘密結社があるか、それは省略して、次に慈善結社として非常に勢力ある『道院』及び『紅卍字會』の事を略述しやう（第六面に續く）

其他の結社
滿洲に勢力ある『道院』

前關東軍司令官本庄繁將軍の帝都凱旋——東京驛前にて寫す

謹賀新年
マニユフアクチヤーラース
生命保險
日本人部代理
信夫事務所
信夫三郎
後藤均平

謹賀新年
土地家屋賣買及通辯
其他一般代理業
晩香坡市バウエル街三三一
奥村事務所
主任 奥村繁彦
電話 ダグラス五五四六
住宅 ハイ二〇六三アール

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二六一
土地家屋賣買
周旋代書通辯
濱垣事務所
濱垣貞一
電話 ドグラス三三二一
住宅 ハイ一五五五ワイ

謹賀新年
晩市東へスチングス街七〇七
必要社
淺野健藏
電話 ハイランド九九一

謹賀新年
晩香坡市バウエル街一三一
井手事務所
井手律
電話 ダグラス五五七六
住宅 フエア一六八七エル

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二四五
濱岸事務所
濱岸和一郎
電話 ダグラス五五八八

謹賀新年
晩市ゴーア街三三七
後藤商會
後藤能義
電話 ドグラス八三九

謹賀新年
晩香坡市バウエル街二〇三
竹內事務所
竹內吉雄
電話 ツリニ三六三三 住宅 バイ二九一三エル

謹賀新年
晩市西へスチングス街六一五
高橋金次事務所
電話 シーモア八一八九

謹賀新年
晩香坡市西へスチングス街二〇七
內田商會
內田三郎
電話 シーモア二五三七

信徒三百万人

滿洲でも勢力の盛んな

慈善結社「道院」

日本の大本敎と提携の信仰團体

（前面の續き）支那に「道院」と共に、亂宗を受けて居るうちに、いち早く脫退したものである、大正十年に至つて、續々と不景氣せられたものであるが其の後其の教示は、宇宙の眞理十二年の今日では信徒（支那人は「信友」と云つて居る）百萬人と天人道の眞髓に基つて、既成宗教に對する人さへ（あり、少くとも三百萬人は確實と云はれて居る、現に生命を與へたもので、其の目的は實行的修養に基いて、社會を改善し、地上に天國淨土を來さうとする理想であつて、宇宙の主神と稱する神靈でわつて、宇宙の主神と稱する神靈でわつて、先天老祖の指揮である事が判つた、それで「道院は敎を離して者祖の神靈を信じ、大正九年には、御扇鸞、濟生壇（道者たる神示を初めて「本元北極眞經」と名づくる經典一卷を發表するに至つた、そこで翌九年の一月に、本元會（鸞壇講）が開かれ、濟生壇（道者四十八名を集めて吳知事の神壇を濟南に移し道院を創設する事になつたのである

◇

道院に於ては先づ「先天老祖」を主宰者の神として祭る、そのでは、先天老祖の信仰は、何んな敎義を有つて居るかと云ふに、之を道院の人々に云はしむると「道院の道は唯神の大道」の謂ひであつて、決して道敎から取つたものではない、元來道は先天的のものであり、敎は後天的のものである、道院は決して宗敎ではない、敎ではなく、先天卽ち唯神の大道を宣布して、世界を改造せんとする信仰團体である」といふ事であつて、又次のやうな事も云つて居る

「恒常的、普遍的、創造的、自由的、無私的の神の意義を認めなければならぬ、從來の政治や道德が無効に終るのは、總て人の意志によつて行はれたからである、既成宗敎の無効なのは、道を傳へずして敎を傳へたからである、故に色々の宗敎が起つて互に爭ひをしたではないか、換言すれば人爲によるものは總て無効である、人の樹てたものには其の人の私慾があるから永遠の安寧平和なる事を得ない、併し神によつて立てられたものは神の意の如く、唯だ是れ美、是れ滿足である、玲つたオ辯優な精神、是等は皆生命のないものである、自己を捨てゝ一切を神の心に聞かなければならぬ事になつたのである

◇

之を道院の人をして云はしむると「道院の道は唯神の大道」の謂ひであつて、決して道敎から取つたものではない、元來道は先天的のものであり、敎は後天的のものである、道院は決して宗敎ではない、敎ではなく、先天卽ち唯神の大道を宣布して、世界を改造せんとする信仰團体である」といふ事であつて、又次のやうな事も云つて居る

「恒常的、普遍的、創造的、自由的、無私的の神の意義を認めなければならぬ、從來の政治や道德が無効に終るのは、總て人の意志によつて行はれたからである、既成宗敎の無効なのは、道を傳へずして敎を傳へたからである、故に色々の宗敎が起つて互に爭ひをしたではないか、換言すれば人爲によるものは總て無効である、人の樹てたものには其の人の私慾があるから永遠の安寧平和なる事を得ない、併し神によつて立てられたものは神の意の如く、唯だ是れ美、是れ滿足である、玲つたオ辯優な精神、是等は皆生命のないものである、自己を捨てゝ一切を神の心に聞かなければならぬ、道院は神化主義である、儒佛道回耶の五大宗敎を融合し、各敎徒もすべて是れに加入し、共同して大道に進む可である」

信徒の勤め

院則五ケ條

而して道院の院則の中には道務として

(一)道德を振興して以て大同を企つ
(二)道旨を闡揚して以て化度を宏む
(三)學校を設立して以て平民を惠む
(四)善擧を力行して以て倫群を利す
(五)實業を興辦して以て慈敎を裕にす

と掲げてある——要括して「內に向つては自己を修省し、外に向つては蒸業を蘇す、此の修己と度人といふ道德の二は道院の全面目である」と說明されてある、それで自己修省といふ方面の機關が卽ち道院であつて、慈善事業を盡すといふ方面の機關が、次に述べる紅卍字會といふ事になる

◇

日本の大本敎が是れと密接に提携して居るのは、敎旨が一致して居る爲めだといふ事であつて、大本敎にも人類愛善會といふものが附隨して居り、道院の別動團体紅卍字會と提携し合つて居るのである

馬占山の討伐

洪水の原因だとの諺言

右の亂宗に就ては缺者が滿洲裏面には有中町ういふ組織があつた——卽ち昨年の七月、第一、第二の松花江が氾濫してハルビンを中心に大洪水が起つて、夫は馬占山を討伐した爲め神樣が怒つて災ひを下したのだといふ諺言がしきりに行はれた、何分にも無智無學の住民が大部分なのであるから夫れを眞實だと思ひ込んだらしく、此の馬鹿馬鹿しい噂を一掃して民心を安定するに、日滿兩當局者も非常に苦心したが效果がなかつた、それで暴者は遂來に、道院を利用しては如何と注意した、それが實行された結果、亂宗に現はれた神諭は「此度の洪水は馬占山討伐の爲めではない、逆に馬占山が無辜の人民を苦しめたのに對する天譴なのである』といふ意味のものであつた爲め、變な噂は忽ちに消滅して了つた——それ程に道院の神諭といふものは滿洲住民の間に重きをなして居るのである

◇

道院の雛壇は山東省の濟南である、そこに大正九年に假廟（寫經林）といつて居る二人のものが、一人は有事、他の一人は冗の手で筆を持つて神前に相對し、神龍に祈願すると、此の棒が自然に動き出して中央の小さな棒の先で字が書ける、そこで沙といふ砂を盛つた盤の上に書いてある、即ち神の意を傳へるのである、それを讀者が讀上げ、それを筆者が筆錄して行くのである

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

◇

此の會の恒久的事業として現在行つて居るものは慈善病院、貧民施藥所、貧民工業傳習所、育兒院、因學校、貧民工業傳習所、育兒院、因此の會は敎育の普及に寄與する（三）醫院を設立して疾病の傳播を防ぎ併せて貧民を救濟する（四）平時より物品を準備して以て萬一の際に備ふる（五）失業者に對する救濟策として工場を設立し、又は小資本の資本を貸付け、以て生活の保證を與へる

◇

此の會は大正十一年に設立されたもので、道院の附帶事業として世界紅卍字會といふものがある、紅は赤誠を表徴し、卍は吉祥と福德を表徴させたもので、當に卍の字は赤色を以て書かれ、會員もそれで、支那の內地旅行には、官廳始め軍隊の護衛よりも此の會員の方が安全だとさへ稱されて居る——それ程に支那では有力な團体でわつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

慈善團體では

支那で赤十字社以上の

『世界紅卍字會』

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

◇

此の會の會員は、全部道院の信徒で、而かも修養する事三ケ月以上に及び道名を有する人に限るといふ事になつて居る、詰り此の會員となるには、先づ道院で充分精神の修養をなし、博愛觀念が養はれ、利己觀念を去つた後といふ事になるのである、會の維持費や事業費なれば、主として會員の會費と寄附金とにより、必要に應じて難民救濟を爲す場合もある、利己心の強い支那人も、道院とか紅卍字會とかの前に出れば、縮めて居る財布の口を緩めて惜氣なく金を出すのであつて、或地方によると「會の經費は永久に正副會長が負擔し一切外部に向つて援助を求めぬ」といふ規則を政府に建言する

日本震災に

紅卍字會活動

現に混亂の支那で、洪水とか地震とか、戰爭とかいふ時に、近年此の會の世話にならない事はなく明けて昨年の北滿洲大洪水の時にも、此の會は救濟に非常な働きをして居るのである、大正十二年關東の大震災の時には、會から三代表者を派遣して慰問、南京、蕪湖、萬元を日本政府に贈り、同時に東京、横濱なぞに在留の支那人を救濟して居る、昭和二年の關西地方地震の時にも、此の會から芳澤公使を通じて見舞金五千元を贈つて居るのである

謹賀新年
晩香坡市パウエル街二三七
蛭崎商店
電話ダグラス九九一

謹賀新年
晩香坡市パウエル街四五三
堀善商店
電話ハイランド四八九

謹賀新年
晩香坡市パウエル街三九九
パウエル藥店
藥劑師オー・シヨー
岩崎與理喜
電話シーモア七五〇二

謹賀新年
晩香坡市パウエル街二四九
誠心堂
電話シーモア四八八四

謹賀新年
晩香坡市パウエル街三四七
内田書籍店
電話シーモア六七一六

謹賀新年
晩香坡市パウエル街二二九
松宮野瀬商店
電話ダグラス二壹壹三

謹賀新年
晩香坡市パウエル街三二九
宮崎商店
電話ダグラス一七四七

謹賀新年
舊年中は格別の御引立に預り奉鳴謝候
尚ほ今年も倍舊御愛顧の程奉希上候
和洋雜貨食料品商
前川商店
晩香坡市パウエル街三六九
電話ドグラス九八一

謹賀新年
晩香坡市パウエル街三六九
電話ドグラス九八一

謹賀新年
最も買ひよき店
香村商店
晩香坡市パウエル街二六九
電話ドグラス九二

謹賀新年
賣藥化粧品
セエフアー万年筆特約店
新見商會
晩香坡市パウエル街參參壹
電話ドグラス參壹壹貳

鶏頭ケ峠の仇討ち

池川駿

枝もたわわに熟つた柿の木に、一羽の鵯がうるさく囀いで、はら〳〵と散るわくらばは、晩秋初冬にも充分だつた。

鶏頭ケ峠の敵討ちに、助勢を賈つて出た侍は、眼も當てられない程の醜態だつた。

「おゝ珍らしや久兵衛、亡き夫の敵、尋常に勝負しや……」

見れば我が姑と妻とが、堀端で一人の男を挟んで、敵の名乗をあげてゐる。これには又一郎、一方ならず驚いた。

敵と言ふのは五十歳をいくつか越したらしい男で、眼から顔の上に酒の醉を加へて眞赤だつた。

「おゝ、これは珍らしや八重どの、十年經ては一ト昔と昔から諺にも申す通りぢや、それに十七年も經つた今日、敵討はほう致されな。それにお身の良人孫左衛門殿を、手にかけたばかりに拙者は十七年が間浪々の身ぢや、遂ひ若氣の過りとは云ひながら、斯うした罰を受けてゐる拙者ぢや……」

跼々とよろめいて、並木の小枝につかまつて、酒臭い息、をぷうと吹いた。

「何を今更世迷ひ言を……夫の敵茂木久兵衛、サア尋常に勝負しや」

姑の八重は、柳眉を逆立て懐剣を持ち直して詰めよつた。妻のたまのも、袋刀の紐を解いてゐても詰めよる。

柳の並木を楯にとつた久兵衛は「はて、女だてらに猪口才な。望みとあれば致方がない、冥途とやらへ送つてやらうか……」

自慢が手傳つたか、なま醉の久兵衛は、腰の長刀をズラリと抜いた。

お八重とたまのは双方から、義父の仇、夫の仇と詰め寄つてゐるのだが、何せよ用意のない女衣裳、造作もなく久兵衛に斬り捲くられて、たぢ〳〵と退る外なく、今は堀端まで追ひつめられた、ところだつた。

「待て!!」

先刻から柳の小蔭で、樣子を窺つてゐた又一郎が抜身を提げて立現はれた。

驚いたのは、ほろ醉の久兵衛。

「堀田の舅子、又一郎ぢや」

「何者だ」

久兵衛が驚いてひるむところを眞向からサツと斬りおろした一太刀で、脆くも久兵衛は朽木のやうに其場へ倒れた。

その死骸を中に挟んで、母子三人は、何が何だか解らない氣持でたゞ茫然と立つてゐる。

堀の面を撫せて來る冷い風を標元に感じたとき、又一郎は、脾腹にグツと激しい衝動を覺えた。とその一瞬、目まひがして急に四邊が薄暗くなつて來た。

「ヤ、ヤ、これは……」

又一郎の脇腹から血汐が吹き出した時、その時にはもう又一郎は地上に倒れてゐた。女房のたまのが密に繰り出した一刀を、脾腹に深く受けたのだつた。

「亡き夫、孫太郎さまの敵……」

斯う叫んだ妻の聲を、かすかに聞いた又一郎は、むつくり頭を擡げた。

「ゐゝ？」

「孫太郎殿の助太刀をして、敵茂木久兵衛を討ちとつたとは、眞赤な僞り……」

妻の聲だ。

「ゐゝ？」又一郎はたゞ驚きの聲を擧げた。

「おのれは、諸國を廻る惡浪人で孫太郎殿を手に掛けた上、大小から赦免狀まで奪ひ取つた曲者であらうかナ」

今度は姑の聲だつた。

「ゐゝ、女の操を盜む人非人、思ひ知つたか……」

無念さうなたまの聲だつた。

二人の誤解を言ひ解くことも出來ずに、死んで行く天野又一郎の死骸を、女二人はさも憎さげに、いつまでも睨みつけてゐる。

×　×　×

歳月は流れて、天和三年の一月元日の朝だつた。

播州姫路では、太守在國の事とてわけて目出度い正月だつた。吉例に依つて家老、一年始の總登城である。

丸に二引の紋は、堀田家の定紋である。又一郎は今、丸に二引の定紋を打つた麻裃をつけて下城の途中だつた。

越後新發田の浪人や天野又一郎は、大和の鶏頭ケ峠で、堀田孫太郎の助勢をしたのが縁となつて、今では播州姫路の酒井侯の家臣となつてゐる。

馬廻り役二百石の扶持付で現はれた。

驚いたのは、ほろ醉の久兵衛。

「堀田の舅子、又一郎ぢや」

「待て!!」

先刻から柳の小蔭で、樣子を窺つてゐた又一郎が抜身を提げて立

賀正

晩市アレキサンダー街及ゴーア街角

日本オート

前川定吉

電話ドグラス二八九九

謹賀新年

ビーシー州ボート・コキツトラム

横溝末藏

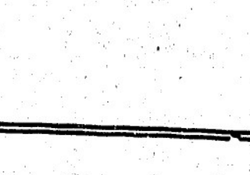
賀正

昭和八年一月元旦

昭和倶樂部

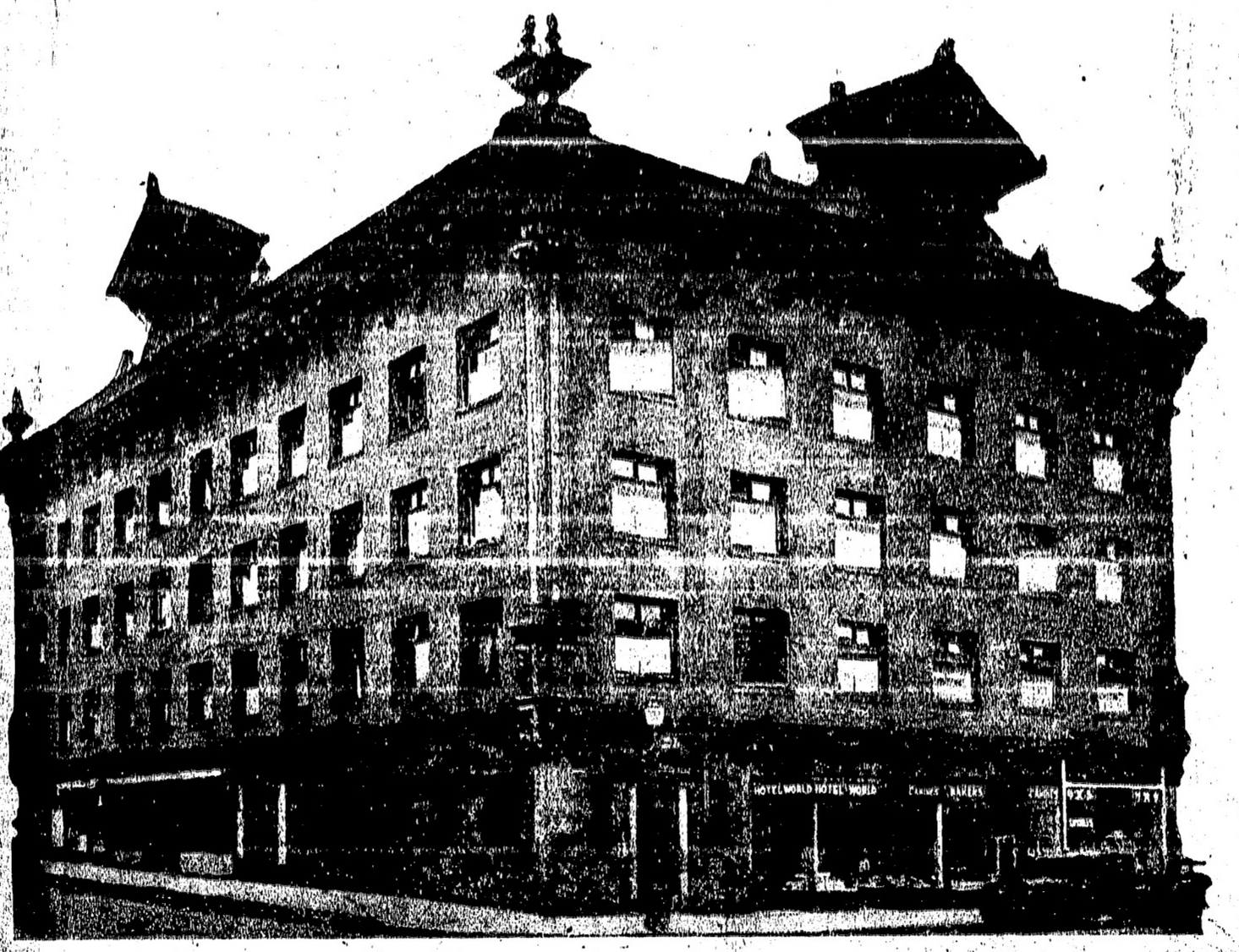
晩市パウエル街三八〇

電話シーモア四五三三



鶏の川柳漫畫

次の女には
鶏になりたい
獨り者



謹賀新年

客年中は多大の御眷顧を蒙り有難御禮申上候
尚新春と共に倍舊の御引立に預り度奉希上候

一千九百三十三年一月一日

日加商業書社

晩香坡市パウエル街三九八
電話ダグラス四〇〇

Japan and Canada Trust Savings Company.
398 Powell St., Vancouver, B. C.
Telephone "Douglas" 400